

北海道女性研究者の会第73回例会
講演会のお知らせ

**動物の色をめぐる2つのなぜ
WHY?とHOW?**

- 存在理由と体色発現の仕組み -

宮下 洋子

前北海道文教大学人間科学部健康栄養学科

2018年11月23日(金) 14時～16時

会場：北海学園大学豊平キャンパス 7号館1階 D101室

アクセス：地下鉄東豊線 学園前駅下車 3番出口に直結

アクセス詳細：http://hgu.jp/guide/toyohira_campus/

TEL：011-841-1161 (大学代表)

光に満ちた環境で生活する動物たちは、驚くほど多様な色やパターンを持ち、ときにそれらを劇的に変化させます。これらは個体や種の保存のための重要な手段として利用されています。動物の色やその変化は長い進化の過程で様々な淘汰圧を受け、その精巧さと多様性を獲得してきました。

動物の色やその変化は基本的に皮膚にある色素細胞によって生じます。しかし、哺乳類・鳥類と両生類・魚類では色素細胞の性質が異なり、体色発現の仕組みも異なります。今回は体色変化が顕著な両生類・魚類の体色発現とその調節系を紹介します。視覚情報を元にした神経的・ホルモンの調節系に加え、皮膚の色素細胞が直接、光や温度変化を感知・応答する可能性も紹介します。

講演終了後、総会を行ないます
(30分程度)

会員以外の方の参加も大歓迎です！！
是非いらして下さい。

後援：北海道教育委員会

連絡先：北海道女性研究者の会

E.mail:hw-mail@hw-rscher.sakura.ne.jp